

イベント概要

[企業名] 日本製紙株式会社

[企業 ID] 3863

[イベント言語] JPN

[イベント種類] 決算説明会

[イベント名] 2023 年度 第 1 四半期決算説明会

[決算期] 2023 年度 第 1 四半期

[日程] 2023 年 8 月 7 日

[時間] 16:30 – 17:07
(合計：37 分、登壇：10 分、質疑応答：27 分)

[開催場所] 電話会議

[登壇者] 取締役 執行役員 管理本部長 板倉 智康 (以下、板倉)
執行役員 企画本部長 瀬邊 明 (以下、瀬邊)
経理部長 的場 宏充 (以下、的場)
経営企画部長 佐野 孝典 (以下、佐野)



連結損益概要

(億円)

| | 2022年度 1Q実績 | 2023年度 1Q実績 | 前年同期比 | |
|--------|----------------|----------------|-------|--------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 2,648 | 2,874 | 226 | 8.6% |
| 営業利益 | ▲29 | 8 | 37 | — |
| 経常利益 | 12 | 4 | ▲8 | ▲70.5% |
| 当期純利益* | ▲82 | ▲53 | 29 | — |

* 親会社株主に帰属する当期純利益

- 売上高は、価格修正の効果発現などにより、前年同期比で増収
- 営業利益は、コストダウンの効果や製品の価格修正の寄与により、黒字に転じた。
- 特別損益は、政策保有株式などの売却に伴う投資有価証券売却益や、Opalのグラフィック用紙事業撤退損を計上

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved 2

板倉： 管理本部の板倉でございます。よろしくお願いたします。私から、2023年度第1四半期決算概要につきましてご説明させていただきます。

売上高は、各種価格修正の効果発現などにより、前年に対して8.6%増の2,874億円となりました。損益については、コストダウンの効果や価格修正の寄与により、前年同期に対して37億円増益となり、営業利益は8億円と黒字に転じました。

営業外損益では、ブラジル子会社でのドル建て借入金による為替評価差益が、前年同期に対して減少しました。特別損益では、政策保有株式などの売却に伴う投資有価証券売却益21億円を、特別利益として計上する一方で、Opal社のグラフィック用紙事業撤退損49億円を、特別損失に計上しております。以上の結果、経常利益は4億円、当期純損失は53億円となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



セグメント別概要

(億円)

| | 売上高 | | | 営業利益 | | |
|------------------|----------------|----------------|-----------|----------------|----------------|-----------|
| | 2022年度 1Q実績 | 2023年度 1Q実績 | 前年 同期比 | 2022年度 1Q実績 | 2023年度 1Q実績 | 前年 同期比 |
| 紙・板紙 | 1,320 | 1,433 | 113 | ▲22 | 2 | 24 |
| 生活関連 | 1,010 | 1,068 | 58 | ▲26 | ▲23 | 3 |
| エネルギー | 82 | 137 | 55 | ▲3 | 5 | 8 |
| 木材・建材・ 土木建設関連 | 167 | 167 | 0 | 19 | 23 | 4 |
| その他 | 69 | 69 | 0 | 3 | 1 | ▲2 |
| 合計 | 2,648 | 2,874 | 226 | ▲29 | 8 | 37 |

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved 3

セグメント別の売上高と営業利益はご覧の通りです。

売上高は、紙・板紙事業、生活関連事業、エネルギー事業で増収となり、2,874億円です。営業利益は、その他事業を除いて増益となり、黒字に転じました。詳細は後ほど、セグメント別業績のところでご説明いたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

増減要因内訳

(億円)

| | | 紙・板紙事業 | | 生活関連事業 | |
|---------|------|--------------------------------------|--|--------|-------------------------------|
| 数量・売価 | 227 | 185 | — | 42 | — |
| 原燃料価格 | ▲198 | ▲161 | チップ ▲35、古紙 ▲12、パルプ ▲2、重油 ▲2、石炭 ▲53、LNG ▲3、薬品他 ▲54 (価格影響 ▲129、為替影響 ▲32) | ▲37 | パルプ ▲11、チップ ▲3、LNG ▲1、薬品他 ▲22 |
| コストダウン等 | 41 | 39 | 原価改善 22、秋田・石巻停機影響 4、労務費 7、物流費 6 | 2 | — |
| その他 | ▲43 | ▲39 | 海外事業 ▲12、減価償却 6、退職給付費用 3、受払影響ほか ▲36 | ▲4 | 海外事業 0、受払影響ほか ▲4 |
| 合計 | 27 | 24 | 国内 36、海外 ▲12 | 3 | 国内 3、海外 0 |
| その他事業 | 10 | エネルギー 8、木建土 4、その他 ▲2 | | | |
| 営業利益 | 37 | | | | |
| 営業外損益 | ▲45 | 金融収支 ▲5、持分法投資損益 ▲10、為替差額 ▲20、その他 ▲10 | | | |
| 経常利益 | ▲8 | | | | |

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved 4

増減要因の内訳はご覧の通りです。

2023年度第1四半期は、原燃料価格が落ち着きつつも、価格の高止まりと期末の在庫影響もあり、引き続き原燃料価格差で、紙・板紙事業、生活関連事業の合計で、約200億円のコストアップとなりました。

紙・板紙事業は、対前年24億円の増益となります。内訳の開示は控えさせていただきますが、数量・売価は、プラス185億円となりました。販売数量が減少したものの、新聞用紙、印刷・情報用紙、段原紙などの価格修正効果が寄与しました。

原燃料価格は、石炭やチップを中心にマイナス161億円となりました。コストダウン等は、プラス39億円の効果を発現しました。この中には、秋田工場と石巻工場のマシン停機などによる固定費圧縮の効果や、省エネ、燃料転換といった原価改善などが含まれております。

生活関連事業は、対前年3億円の増益となりました。パッケージング、家庭紙・ヘルスケア、ケミカルのいずれの事業も、原料価格高騰の影響が大きいものの、価格修正効果が寄与しました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

紙・板紙事業

(億円)

| 2022年度 1Q実績 | 売上高 | | 2022年度 1Q実績 | 営業利益 | |
|----------------|----------------|-------|----------------|----------------|-------|
| | 2023年度 1Q実績 | 前年同期比 | | 2023年度 1Q実績 | 前年同期比 |
| 1,320 | 1,433 | 113 | ▲22 | 2 | 24 |

- 国内
 - ・洋紙と板紙の国内販売数量は、需要が低調に推移し、前年同期比で減少。
 - ・石炭やチップなど原燃料価格の上昇によるコストアップが続く中、コストダウンの効果や製品の価格修正の寄与により、黒字に転じた。
- 海外
 - ・十條サーマル(JToY)は、欧州における感熱紙の需要が低調に推移したこと、原燃料価格上昇により、営業利益は赤字となった。

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved 5

ここからは、セグメント別の業績について説明いたします。

まず、紙・板紙事業についてです。

国内事業についてですが、洋紙・板紙ともに需要が低調に推移し、国内販売数量は前年同期を下回りました。石炭や古紙など、原燃料価格の上昇によるコストアップが続く中、原価改善や固定費削減といったコストダウンの効果、製品の価格修正効果が寄与し、営業利益は黒字に転じました。

海外事業は、十條サーマルにおいて、欧州における感熱紙の需要が低調に推移したこと、原燃料価格の上昇により、営業利益は赤字となりました。以上の結果、紙・板紙事業は前年に対して、増収増益となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

生活関連事業

(億円)

| | 売上高 | | | 営業利益 | | | |
|----|----------------|----------------|-----------|----------------|----------------|-----------|--------------------------------|
| | 2022年度 1Q実績 | 2023年度 1Q実績 | 前年 同期比 | 2022年度 1Q実績 | 2023年度 1Q実績 | 前年 同期比 | |
| 国内 | 461 | 503 | 42 | 11 | 14 | 3 | パッケージ 7、ケミカル ▲9 家庭紙・ヘルスケア 5 |
| 海外 | 549 | 565 | 16 | ▲37 | ▲37 | 0 | Opal ▲25、NDP 25、TSP 0 |
| 合計 | 1,010 | 1,068 | 58 | ▲26 | ▲23 | 3 | |

- 国内
 - ・トイレットロールやヘルスケア製品などの販売数量は増加。
 - ・機能性フィルムや機能性コーティング樹脂、液体用紙容器などの販売数量は減少。
 - ・原燃料価格高騰の影響はあったものの、製品の価格修正が寄与したことで、増収増益となった。
- 海外
 - ・Opalは、グラフィック用紙事業の撤退に伴う販売数量の減少などにより、前年同期比で減益となった。
 - ・日本ダイナウェーブパッケージング(NDP)は、前年は第1四半期に休転を実施したため、前年同期比で増益となった。(2023年度は第2四半期に休転を実施)

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved 6

次に、生活関連事業の業績について説明します。

国内事業は、トイレットロールやヘルスケア製品の販売数量は増加しましたが、機能性フィルムや機能性コーティング樹脂、液体用紙容器などの販売数量は減少しました。社会経済活動の正常化が進む中、物価高の影響などにより、需要動向に差が見られました。全体としては、原燃料価格の高騰の影響はあったものの、製品の価格修正が寄与したことで、増収増益となりました。

海外事業のうち、Opal社は、グラフィック用紙事業の撤退に伴う販売数量の減少などにより、前年同期比で減益となり、営業利益の赤字が拡大しました。北米のNDPは、昨年度、第1四半期は大型休転を実施し、固定費が増加していたため、前年同期比で増益となりました。なお、今年度の大型休転は第2四半期に実施しております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

エネルギー事業

| (億円) | | | | | |
|----------------|----------------|-----------|----------------|----------------|-----------|
| 売上高 | | | 営業利益 | | |
| 2022年度 1Q実績 | 2023年度 1Q実績 | 前年 同期比 | 2022年度 1Q実績 | 2023年度 1Q実績 | 前年 同期比 |
| 82 | 137 | 55 | ▲3 | 5 | 8 |

・勇払エネルギーセンターが営業運転を開始したことや電力価格の上昇などにより、増収増益となった。

木材・建材・土木建設関連事業

| (億円) | | | | | |
|----------------|----------------|-----------|----------------|----------------|-----------|
| 売上高 | | | 営業利益 | | |
| 2022年度 1Q実績 | 2023年度 1Q実績 | 前年 同期比 | 2022年度 1Q実績 | 2023年度 1Q実績 | 前年 同期比 |
| 167 | 167 | 0 | 19 | 23 | 4 |

・新設住宅着工戸数が減少し、原木や建材品などの販売数量は前年同期を下回ったものの、燃料チップの取扱量が増加したことなどにより、増収増益となった。

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved 7

エネルギー事業は、2023年2月に勇払エネルギーセンターが営業運転を開始し、順調に稼働しております。原燃料価格の高騰による電力価格の上昇などで増収増益となり、営業利益は黒字に転じました。

木材・建材・土木建設関連事業は、新設住宅着工戸数が減少し、原木や建材品などの販売数量は前年同期を下回ったものの、燃料チップの取扱量が増加したことなどにより、増収増益となりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

連結損益概要

(億円)

| | 2022年度 実績 | 2023年度 予想 | 前年同期比 | |
|--------|--------------|---------------|-------|------|
| | | | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 11,526 | 12,300 | 774 | 6.7% |
| 営業利益 | ▲269 | 240 | 509 | — |
| 経常利益 | ▲245 | 180 | 425 | — |
| 当期純利益* | ▲504 | 150 | 654 | — |

* 親会社株主に帰属する当期純利益

■2023年度の業績予想は、5月15日に公表した内容から変更ありません。

Copyright © NIPPON PAPER INDUSTRIES CO., LTD. All rights reserved 8

2023年度の通期の業績見通しにつきましては、5月15日に公表した内容から変更はありません。営業利益は、四半期ベースでの黒字が2021年度第4四半期以来となります。これは、原燃料の価格動向が落ち着きを取り戻しつつある中で、昨年度から進めてきておりますコストダウンと価格修正に、しっかりと取り組むことができた結果だと受け止めております。

原燃料価格や需要動向など、先行きの不透明な部分もありますが、引き続きコストダウンと製品価格の維持をしっかりと進めてまいります。

以上をもちまして、第1四半期決算概要についての説明を終わらせていただきます。ありがとうございました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

